

## 養父市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化の進行が原因と考えられる酷暑や暖冬、スーパー台風や線状降水帯による集中豪雨などが全国各地で頻発しており、さらに今後もそのリスクは増大していくと懸念される。

このような状況の中、地球温暖化の主要因とされる温室効果ガスの排出低減が国際社会共通の喫緊の課題である。

地球温暖化対策に関する国際的な枠組みである「パリ協定」では、世界平均気温の上昇幅を産業革命前と比べ、2度を十分に下回り、1.5度に抑える努力をすとした。

また、国連の「気候変動に関する政府間パネル」は、今年3月に公表した第6次統合報告書で、世界の温室効果ガスの排出量を2035年までに2019年比で60%削減する必要があるとの認識を示した。

養父市には、兵庫県下最高峰の氷ノ山や日本の滝100選に選ばれている天滝をはじめとする美しい自然があり、そこには多種多様な動植物が生息している。これらの素晴らしい自然環境を損なうことなく、持続可能なまちを次世代に繋いでいくため、養父市は2050年までに二酸化炭素の実質排出ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言する。

令和5年（2023年）6月2日

養父市長 広瀬 栄